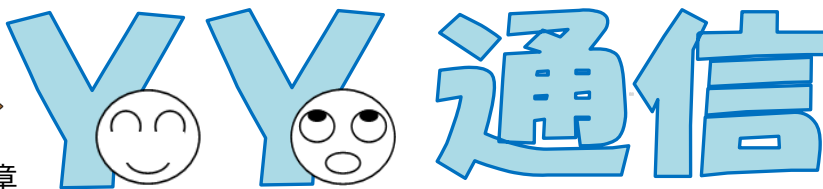


校章



学校長のあいさつ

コロナ禍2年目となり、まだ終息の見通しが立たない状況が続いています。

4月5日の入学式では、小学部2名・中学部8名の新生を迎え、46名の児童生徒で学校はスタートしました。

昨年度、本校は創立50周年を迎え、子どもと教職員だけで小規模の集会を開き、横須賀市在住ピアノリストの宮川久美さんのピアノリサイタルで、お祝いしました。

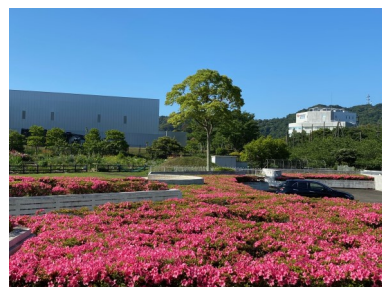
今年度も、なかなか全員で集まることができず、運動会ややまゆり祭などこれまで通りの行事もできない日々ですが、この間に校内テレビ放送システムを導入し、各教室でテレビ集会や朝会など、新しい取り組みができるようになりました。横須賀市のGIGAスクールの取組も進み、今年度中にiPadが導入されることにもなっています。

毎日の学校では、感染に気をつけて活動を行っていますが、子どもたちの表情はとても明るく笑顔いっぱいです。学校に通ってくることを、楽しみにしている様子でうれしいです。

しばらくは、「通常の活動」にこだわり過ぎず、新しい学校生活のスタイルを築きながら、子どもたちと学習を充実させていきたいと考えています。

地域の方と直接のふれあいや交流の機会は少なくなっていますが、これまでとは違う発信の仕方を考えていく予定です。保護者のみなさま、地域のみなさまのこれまで通りのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

横須賀市立養護学校 校長 小谷亜弓



神奈川フィル コンサート (小学部)



6月2日、本校体育館で、神奈川フィルハーモニー管弦楽団弦楽四重奏によるコンサートが開催されました。密を避け、一人一人の距離を保つため、今回は小学部だけの参加になりました。

体育館から聴こえてくるリハーサルの音に興味を持って朝の会でお話してくれる子がいたり、いつもと違う雰囲気を感じたりしながら、開演を楽しみにしていました。



クラシック曲、映画音楽、ミュージカル音楽など様々なジャンルから、どれも耳にしたことのある曲ばかりでした。椅子に座って背中をまっすぐにして聴く子、両手を指揮者のように動かす子、先生と一緒に手拍子をして笑顔になる子、うっとりとして目を閉じて聴く子…。子どもによって、楽しみ方や感じ方はいろいろだったようです。

2台のバイオリン、ビオラ、チェロが奏でる生の音色が子どもたちの心に届いた、すてきな時間になりました。



YYボイス！市立養護学校へのご意見を「YYボイス」として受けています。プラットフォームの赤いポストに入れてください。用紙は長机にあります。感想・ご意見等お待ちしております。

